

退職給付専門委員会における検討状況について

1. 検討の範囲について（審議事項(4)-2）

<事務局案>

今般の短期プロジェクトにおいては、「退職給付債務の計算に使用する割引率の取扱い」の見直しだけを取り上げる。具体的には、現行の退職給付会計基準 注解（注6）にある「割引率は、一定期間の債券の利回りの変動を考慮して決定することができる」旨の記載を削除することを中心に、これに関連する事項を検討する。

2. 割引率の検討に関する今後の方向性について

(1) 割引率の検討に関連して検討すべき事項について（論点の整理）（審議事項(4)-3）

専門委員会で検討している論点とこれまでに出版されている主な意見等

(2) 回廊アプローチ導入の要否及び重要性基準見直しの要否について（審議事項(4)-4）

本日の委員会では、これまでの専門委員会の議論を踏まえて事務局が作成した、下記の今後の取組みの方向性に関するいくつかの案について審議頂きたい。

割引率について注解（注6）なお書きを削除する場合における、回廊アプローチ・重要性基準の取扱いに関する組合せパターン

	回廊アプローチ	重要性基準	備考（意見）
イ案	回廊アプローチを導入しない。（従前通り）	重要性基準を見直す。	・ 期末割引率という観点 が徹底される。 ・ 従前よりも実務負担が 増える？
ロ案	回廊アプローチを導入しない。（従前通り）	重要性基準を見直さない。（従前通り）	・ 従前と同様の考え方 である。 ・ 期末割引率という観点 が徹底されていない。
ハ案	回廊アプローチを導入する。	重要性基準を見直す。	・ 退職給付基準の他の部 分への影響が大きい。 ・ 現時点の国際基準に近 づく。
(参考) ニ案	回廊アプローチを導入する	重要性基準を見直さない。（従前通り）	・ 退職給付基準の他の部 分への影響が大きい。 ・ 審議会意見書では両者 併用を否定している。

4. 『『退職給付に係る会計基準』の一部改正（その3）』たたき台について

最終公表物のイメージについて示している（検討の範囲等の方向性によっては今後大きく変わり得るものとして作成している。）

以上